

## 9. 水道周辺



水道付近に敷き詰められたブロック部分が濡れていると子どもが滑ったり、頭をぶつけたりする危険性がある。

- 周囲に子どもたちが近づかないようにしたり、蛇口周辺で遊ばないように注意したりする。
- 万が一、水が溜まっていることがあるかもしれないので、園庭準備時等に確認しておく。

## 11. 園庭のくぼみ、ゴムチップと地面の境目

**園庭のくぼみ**：雨の浸食や園児が掘った穴などがあり、子どもたちが歩いたり、走ったりすると転んだり、つまづいたりする原因となる。

- 子どもたちに園庭は掘らないよう注意する。
- 園庭整備のときなど、こまめに整地する。

**ゴムチップ**：正面玄関から1歳児入り口のマンホール付近まで段差があり、足を引っ掛けてつまづく危険性がある。

- 特に3歳以上児が遊んでいる際は気を付ける。
- 園庭整備の際に、砂で段差を低くするようにする。



## 8. 門扉周辺、門扉の隙間及び掲示板周辺、ベビーカー置き場



**門扉周辺**：門の鍵が開いていたり、以上児ともなると鍵を自分で解除したりして、勝手に園外へ出てしまうこともある。

- 勝手に鍵を開けてはいけなことを子どもたちに言い聞かせると同時に、開けないよう常に気を配っておく。

**門扉の隙間**：かくれんぼなどで以上児が奥まで入ってしまうことがある。格子の隙間から足を入られたり、留め具などが飛び出していたりすると怪我の危険性も考えられる。

- 門と扉の隙間には絶対に入らないように伝える。

**掲示板周辺**：アスファルト部分、掲示板の下部は危ない場所であることを子どもたちに伝える。

**ベビーカー置き場**：子どもがぶつかったりする。

- 周辺では遊ばないようにするとともに、ベビーカーが倒れそうだったら整理を行う。

## 10. 植え込み、椎の木周辺、ごみ箱周辺

**植え込み**：子どもの目の高さに枝があり、危ない。

- 近くにいかなないように目を配らせる。
- 低い枝をこまめに切る。

**椎の木周辺**：木の根が出ており、その根につまづいたり、根を使ってフェンスをよじ登ろうとする。

- 危ないことを子どもたちに伝える。
- 大きな樹木は根が大きく張り出して育つことを知らせ、遊び方を考える。

**ごみ箱周辺**：ごみ箱のタイヤのストッパーが出ていたり、裏側に石があったりしているのが危ない。

- 危ない場所であることを子どもたちに伝える。

## 7. エレメンツ、エレメンツ脇のパナナ

エレメンツ下部の地面が彫ってあったり、段差ができていたりするため転んだり、足を引っ掛けやすくなったりしている。また、らせん状の降りる棒で降りてくる子どもと、カウンターで遊んでいる子どもがぶつかりそうになる。

エレメンツ脇のパナナ上の遊具と本体との距離が近いので、子どもがパナナの上で本体に手を伸ばしたり、ぶら下がったりしている。

- エレメンツ下部の地面は園庭整備の際に整地しておく。また、子どもたちには掘らないように伝える。
- 棒をつたって降りてくる子どもとカウンターで遊んでいる子どもがぶつからないように気を付ける。
- エレメンツ脇のパナナは上に立って遊ぶ遊具ではないことを伝え、十分に気を付ける。